

職業実践専門課程の基本情報について

学 校 名		設置認可年月日		校 長 名		所 在 地	
明治東洋医学院 専門学校		昭和51年4月1日		谷口 和彦		〒564-0034 吹田市西御旅町7番53号 (電話) 06-6381-3811	
設 置 者 名		設立認可年月日		代 表 者 名		所 在 地	
学校法人 明治東洋医学院		昭和53年2月10日		谷口 和彦		〒629-0392 京都府南丹市日吉町保野田ヒノ谷6-1 (電話) 0771-72-1231	
目 的		学校教育法及び柔道整復師法に基づき、柔道整復師に関する知識、技能を教授し、もって現代に立脚した合理的思考のできる有資格者を養成するとともに、国民の健康保持・増進に寄与する人材を育成することを目的とする。					
分野	課程名	学科名	修業年限 (昼、夜別)	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	専門士の付与	高度専門士の付与	
医療	医療専門課程	第1柔整学科	3年(昼)	【3年】87単位2430時間 【1・2年】107単位2420時間	平成7年文部科学省告示第7号		
教育課程		講義	演習	実験	実習	実技	
		【3年】52単位1410時間 【1・2年】66単位1250時間	【3年】13単位330時間 【1・2年】19単位480時間	単位時間 (又は単位)	【3年】22単位690時間 【1・2年】22単位690時間	単位時間 (又は単位)	
生徒総定員		生徒実員		専任教員数		兼任教員数	
180人		143人		9人		32人	
学期制度		■1学期：4月～7月 ■2学期：8月～11月 ■3学期：12月～3月		成績評価		■成績表(有・無) ■成績評価の基準・方法について 3回の試験、及び出席を加味し評価する	
長期休み		■学年始め：4月1日から5日 ■夏 季：8月1日から8月20日 ■冬 季：12月25日から1月5日 ■学 年 末：3月25日から31日		卒業・進級条件		開設科目、60点(可)以上をもって進級および卒業の条件とする。	
生徒指導		■クラス担任制(有・無) ■長期欠席者への指導等の対応 定期的にクラスアドバイザーが保護者等と連携し連絡をとっている。 体調の理由の場合は、休学を薦める。		課外活動		■課外活動の種類 ■サークル活動(有・無)	
就職等の状況		■主な就職先、業界等 鍼灸接骨院、病院 ■就職率※ ¹ 85.0% ■卒業者に占める就職者の割合※ ² 44.7 (平成27年度卒業者に関する平成28年4月時点の情報)		主な資格・検定		柔道整復師国家試験受験資格	

中途退学の現状	<p>■中途退学者 13名 ■中退率 8.9%</p> <p>平成27年4月1日在学者 146名（平成27年4月入学者を含む）</p> <p>平成28年3月31日在学者 134名（平成28年3月卒業生を含む・転部者含む）</p> <p>■中途退学の主な理由</p> <p>進路変更、経済的理由、健康上の理由等</p> <p>■中退防止のための取組</p> <p>クラスアドバイザーによる定期的な個別指導</p>
ホームページ	URL: www.meiji-s.ac.jp

※1「大学・短期大学・高等専門学校及び専修学校卒業予定者の就職（内定）状況調査」の定義による。

- ①「就職率」については、就職希望者に占める就職者の割合をいい、調査時点における就職者数を就職希望者で除したものとする。
- ②「就職率」における「就職者」とは、正規の職員（1年以上の非正規の職員として就職した者を含む）として最終的に就職した者（企業等から採用通知などが出された者）をいう。
- ③「就職率」における「就職希望者」とは、卒業年度中に就職活動を行い、大学等卒業後速やかに就職することを希望する者をいい、卒業後の進路として「進学」「自営業」「家事手伝い」「留年」「資格取得」などを希望する者は含まない。

※「就職（内定）状況調査」における調査対象の抽出のための母集団となる学生等は、卒業年次に在籍している学生等としている。ただし、卒業の見込みのない者、休学中の者、留学生、聴講生、科目等履修生、研究生及び夜間部、医学科、歯学科、獣医学科、大学院、専攻科、別科の学生は除いている。

※2「学校基本調査」の定義による。

全卒業者数のうち就職者総数の占める割合をいう。

「就職」とは給料、賃金、報酬その他経常的な収入を得る仕事に就くことをいう。自家・自営業に就いた者は含めるが、家事手伝い、臨時的な仕事に就いた者は就職者とはしない（就職したが就職先が不明の者は就職者として扱う。）

1. 教育課程の編成

(教育課程の編成における企業等との連携に関する基本方針)

柔道整復の実践的かつ専門的な能力を育成するために、下記の基本方針に基づいて企業等と連携する。

- ①現代の社会で求められている、また、今後、ニーズが高まると予想される柔整領域での実践的技能の習得を目的とする。
- ②講師派遣施術所と教育内容の調整をおこない、講師が提供できる知識・技術・技能の内容に即した授業科目を設定し、実習を中心とする授業形態により実践的な技能の習得を図る。
- ③教育内容、効果が目的に合致しているか、多様な評価を行い、教育の改善を図ることにより、教育水準の向上をはかる。

(教育課程編成委員会等の全委員の名簿)

平成28年4月1日現在

名 前	所 属
田邊 美彦	日本スポーツ整復療法学会 評議員
山村徳三	宮川接骨院
小西幹夫	小西接骨鍼灸院
三澤圭吾	明治東洋医学院専門学校 柔整学科長
田口辰樹	明治東洋医学院専門学校 教務部長

(開催日時)

第1回 平成28年 8月19日 15:00 ～ 16:10

第2回 平成28年12月23日 14:30 ～ 16:00

2. 主な実習・演習等

(実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針)

講師派遣施術所との連携による実習・演習等の基本方針は以下の通りとする。

- ①講師が提供できる知識・技術・技能の内容は、専攻分野及び当該授業科目の専門性を向上させるのに必要な内容とし、それに基づいて実習、実技又は演習の授業内容を決定する。
- ②実習の内容については、安全性を確保する。
- ③技能の習得ができたか、教育内容が妥当であったか、学生は満足したかなどを、学生、教育者、第三者により評価する。
- ④評価結果を教育課程編成委員会で検討し、教育の改善を行うことにより、内容の充実に努める。

科 目 名	科 目 概 要	連 携 企 業 等
臨床柔道整復実技 IX (3年)	伝統的に行われている専門的な柔道整復技法の中で、現代社会でも用いられている技法を習得し実践できることを目的とし、柔道整復施術所の現場で実践・活躍している講師の指導の下、卒業を控えた学生に対して、学校実技室で実習をおこなう。	小西接骨鍼灸院・宮川接骨院
臨床セミナー I (2年)	伝統的に行われている専門的な柔道整復技法の中で、現代社会でも用いられている技法を習得し実践できることを目的とし、柔道整復施術所の現場で実践・活躍している講師の指導の下、2年生に対して、学校で演習を行う。	小西接骨鍼灸院・宮川接骨院 たなべ整骨院

3. 教員の研修等

(教員の研修等の基本方針)

公益社団法人全国柔道整復学校協会の教員研修会に参加する。

企業等と連携し、外部講師を招き校内において研修する。

企業等での研修を希望する教員の募集を行い、毎土曜日に研修する。

4. 学校関係者評価

(学校関係者評価委員会の全委員の名簿)

平成28年4月1日現在

名 前	所 属
上山 陽	学校法人 大阪学園 大阪高等学校 進路支援センター長
米川 修二	関西大学北陽高等学校
酒井 良和	さかい鍼灸院
矢野 忠	明治東洋医学院専門学校 教員養成学科長
中村 満	明治東洋医学院専門学校 鍼灸学科長
三澤 圭吾	明治東洋医学院専門学校 柔整学科長
田口 辰樹	明治東洋医学院専門学校 教務部長
藤井 義巳	明治東洋医学院専門学校 事務局長

(学校関係者評価結果の公表方法)

URL: www.meiji-s.ac.jp

5. 情報提供

(情報提供の方法)

URL: www.meiji-s.ac.jp

授業科目等の概要

(医療専門課程第1 柔整学科) 平成28年度 3年生										
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業 時数	単 位数	授業方法		
必修	選択必修	自由選択						講 義	演 習	実験・実習・実技
○			情報処理	コンピュータの基本を理解し、日常的に用いるインターネット・ワープロ表計算・プレゼンテーションソフトの理解を深め、セキュリティの知識をつけることなど IT 技術の基礎を習得することを目的とする。	2 ②	30	2		○	
○			自然科学	自然科学の興味、関心を持ち、科学的思考を身につけることを目的とする。	1 ①	30	2	○		
○			保健体育	スポーツを通して、スポーツの楽しさや仲間意識などを身につけることを目的とする。	1 ①	30	2		○	
○			外国語	医療で用いられる用語をキーワードにし、英語の理解を深めることを目的とする。	2 ①	30	2	○		
○			倫理学	医療人に必要な倫理を学ぶことを目的とする。	1 ①	30	2	○		
○			法学	柔道整復業務と関係する法律の基礎を学ぶことを目的とする。	3 ①	30	2	○		
○			臨床心理	患者と接するために必要な心の問題を学ぶことを目的とする。	3 ②	30	2	○		
○			解剖学Ⅰ～Ⅶ	医学を学習する上で重要な人体構造の知識の習得を目的とする。解剖学Ⅰは骨、Ⅱは筋、Ⅲは内臓、Ⅳは脈管、Ⅴは神経、Ⅵ・Ⅶでは局所解剖を学ぶことを目的とする。	1 通 2 ① ②	210	7	○		
○			生理学Ⅰ～Ⅴ	医学を学習する上で重要な人体機能の知識の習得を目的とする。生理学Ⅰ・Ⅱでは植物生理、Ⅲ・Ⅳ・Ⅴでは動物生理を学ぶことを目的とする。	1 通 2 ① ②	150	5	○		
合計				19 科目	570 単位時間 (26 単位)				

授業科目等の概要

(医療専門課程第1 柔整学科) 平成28年度 3年生										
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業 時数	単 位数	授業方法		
必修	選択必修	自由選択						講 義	演 習	実験・実習・実技
○			運動学	人の動きや動作を可能にしている構造とそのメカニズムを学ぶことを目的とする。	2 ①	30	1	○		
○			病理学概論 Ⅰ～Ⅱ	人体の疾病についての原因や病態などが考察できる、基礎・基本的な病理学的知識を学ぶことを目的とする。	2 ② ③	60	2	○		
○			衛生学・公衆衛生学Ⅰ～Ⅱ	衛生学・公衆衛生学の基本的な知識を学びつつ、国家試験レベルの問題も理解することを目的とする。	2 ① ②	60	2	○		
○			一般臨床医学Ⅰ～Ⅱ	内科領域の疾患を学習します。消化器疾患、呼吸器疾患、循環器疾患など、現在医療機関で行われている治療法についても学ぶことを目的とする。	3 ① ②	60	2	○		
○			運動障害学Ⅰ～Ⅱ	整形外科領域における診断学や治療法について学ぶことを目的とする。	3 ① ②	60	2	○		
○			外科学概論Ⅰ～Ⅱ	外傷やショック、手術や麻酔などの外科的な基礎的事項に加えて、救急法や代表的な外科的疾患について学ぶことを目的とする。	3 ① ②	60	2	○		
○			リハビリテーション概論Ⅰ～Ⅱ	リハビリテーションについての概念や歴史、その対象及び評価・診断・治療方法について学ぶことを目的とする。	3 ① ②	60	2	○		
○			柔道Ⅰ～Ⅲ	柔道の精神を学び、柔道を通じその技術と能力を養うことを目的とする。	1 通 2 ① ② 3 ① ②	180	6			○
○			関係法規	柔道整復師として必要な、業務に係る医療・福祉の法律（医療法・柔道整復師法など）について学ぶことを目的とする。	3②	30	1	○		
合計				20 科目	600 単位時間 (20 単位)					

授業科目等の概要

(医療専門課程第1 柔整学科) 平成28年度 3年生										
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法		
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技
○			骨折総論	柔道整復学の基礎となる骨折に関する基礎項目を理解し、骨折の発生から治癒に至るまでの総論的な部分を学ぶことを目的とする。	1 ①	30	1	○		
○			脱臼・軟損総論	柔道整復学の基礎となる関節および軟部組織に関する基礎項目を理解し、関節損傷および軟部組織の損傷の発生から治癒に至るまでの総論的な部分を学ぶことを目的とする。	1 ②	30	1	○		
○			治療総論Ⅰ～Ⅱ	柔道整復師の行う治療について、歴史的背景や現在行われている業務を踏まえて治療に必要な基礎(治療の流れと展開)を学ぶことを目的とする。	1 ① ②	60	2	○		
○			包帯固定学	柔道整復師にとって必要不可欠な技術である固定法、包帯法について、その技術を習得する前段階においての基礎的知識を学ぶことを目的とする。	1 ①	30	1	○		
○			柔道整復理論Ⅰ～Ⅳ	上肢の骨折・脱臼、下肢・体幹の骨折・脱臼について学習します。上肢・下肢・体幹の形態機能を踏まえて骨折、脱臼を系統的に学び、理解を深めることを目的とする。	1 ② ③	120	4	○		
○			臨床柔道整復学Ⅰ～Ⅶ	上肢、下肢、体幹の骨折・脱臼・軟部組織損に対する整復法、固定法、後療法を、鑑別診断を意識しながら学ぶことを目的とする。	2 通 3 ①	210	7	○		
○			柔整医学演習Ⅰ～Ⅶ	国家試験に対応した授業で、問題演習を柱として対象となる11科目を総合的に学ぶことを目的とする。	3 通	210	7		○	
○			基礎包帯実技	柔道整復師として施術を行うにあたり、副子固定・包帯固定が必要となります。固定実技を学ぶ前に、基礎となる包帯の技術を習得することを目的としている。	1 ①	30	1			○
○			基礎固定実技	骨折や脱臼に対する包帯による固定法についての基礎技術を修得し、合わせてテーピングの基礎技術を修得することを目的とする。	1 ②	30	1			○
合計				25 科目	750 単位時間 (25 単位)					

授業科目等の概要

(医療専門課程第1 柔整学科) 平成28年度 3年生										
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業 時数	単 位 数	授業方法		
必修	選択必修	自由選択						講 義	演 習	実験・実習・実技
○			基礎柔道整復実技Ⅰ～Ⅳ	上肢の骨折と脱臼、下肢・体幹の骨折と脱臼に分けて、系統的に整復法・固定法の基礎的な技術を習得することを目的とする。	2 ② ③ 3 ①	120	4			○
○			臨床柔道整復実技Ⅰ～Ⅸ	上肢・下肢・体幹の骨折・脱臼・軟部組織損傷について、診断の仕方・整復法・固定法の臨床的な技術を習得することを目的とする。	2 通 3 通	285	9			○
○			臨床実習	臨床の現場において医療面接、診察法、柔整治療の技術の習得を目的とする。	3 ① ②	45	1			○
○			柔整専門演習Ⅰ	整形外科病院見学実習、スキー場救護見学実習を通して総合的な臨床知識の向上を図ることを目的とする。	2 ③ 3 ①	30	1		○	
○			柔整専門演習Ⅱ	興味のあるテーマを選択し、研究、臨床あるいは国家試験対策を行い柔道整復学を専門的に理解することを目的とする。	3 ① ②	30	1		○	
合計				16 科目	510 単位時間 (16 単位)					

授業科目等の概要

(医療専門課程第1 柔整学科) 平成28年度1年生・2年生										
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業 時数	単 位数	授業方法		
必修	選択必修	自由選択						講 義	演 習	実験・実習・実技
○			情報処理	コンピュータの基本を理解し、日常的に用いるインターネット・ワープロ表計算・プレゼンテーションソフトの理解を深め、セキュリティの知識をつけることなど IT 技術の基礎を習得することを目的とする。	1 ①	30	2		○	
○			自然科学	自然科学の興味、関心を持ち、科学的思考を身につけることを目的とする。	1 ①	30	2	○		
○			健康の科学	健康の維持・増進を図るための基礎的な知識を学ぶことを目的とします。	1 ①	30	2		○	
○			外国語	英語を通してコミュニケーションを図ることを目的とする。	1 ②	30	2	○		
○			倫理学	医療人に必要な倫理を学ぶことを目的とする。	1 ②	30	2	○		
○			社会学	社会の事象を1つの視点から学習することを目的とする。	3 ①	30	2	○		
○			心理学	患者さんと接するために必要な心の問題を学ぶことを目的とする。	3 ②	30	2	○		
○			解剖学Ⅰ～Ⅴ	骨・筋、内臓、神経・脈管器官系に分けて系統的に人体の構造を学習することを目的とする。	1 通	130	8	○		
○			生理学Ⅰ～Ⅲ	医学を学習する上で重要な人体機能の知識の習得を目的とする。	1 通	80	5	○		
合計				15 科目	420 単位時間 (27 単位)					

授業科目等の概要

(医療専門課程第1 柔整学科) 平成28年度1年生・2年生										
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業 時数	単 位 数	授業方法		
必修	選択必修	自由選択						講 義	演 習	実験・実習・実技
○			運動学	人の動きや動作を可能にしている構造とそのメカニズムを学ぶことを目的とする。	2 ①	30	2	○		
○			病理学概論 Ⅰ～Ⅱ	人体の疾病を理解するための基礎として、各臓器に生じる病変（循環障害、炎症、腫瘍など）を学ぶことを学ぶことを目的とする。	1 ③ 2 ①	60	4	○		
○			衛生学・公衆衛生学Ⅰ～Ⅱ	病気を予防して健康の維持・増進をはかる知識を学ぶことを目的とする。	2 ① ②	60	3	○		
○			一般臨床医学Ⅰ～Ⅱ	内科領域の疾患を学習します。消化器疾患、呼吸器疾患、循環器疾患など、現在医療機関で行われている治療法についても学ぶことを目的とする。	2 ① ②	60	4	○		
○			運動障害学概論	整形外科領域における診断学や治療法について学ぶことを目的とする。	2 ②	30	2	○		
○			外科学概論	外傷やショック、手術や麻酔などの外科的な基礎的事項に加えて、救急法や代表的な外科的疾患について学ぶことを目的とする。	2 ①	30	2	○		
○			リハビリテーション概論	リハビリテーションについての概念や歴史、その対象及び評価・診断・治療方法について学ぶことを目的とする。	3 ①	30	2	○		
○			柔道Ⅰ～Ⅴ	柔道の精神を学び、柔道を通じその技術と能力を養うことを目的とする。	1 ① ② 2 ① ② 3 ①	150	5			○
○			関係法規	柔道整復師として必要な業務に関係する医療・福祉の法律（医療法・柔道整復師法など）について学ぶことを目的とする。	3 ②	30	2	○		
合計				16 科目		480 単位時間（		26 単位）		

授業科目等の概要

(医療専門課程第1 柔整学科) 平成28年度1年生・2年生										
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業 時数	単 位数	授業方法		
必修	選択必修	自由選択						講 義	演 習	実験・実習・実技
○			柔道整復学入門	骨折、脱臼、筋・腱・靱帯など軟部組織損傷の治療法（整復・固定・後療法）について学ぶことを目的とする。	1 ①	30	1	○		
○			骨折総論	柔道整復学の基礎となる骨折に関する基礎項目を理解し、骨折の発生から治癒に至るまでの総論的な部分を学ぶことを目的とする。	1 ①	30	1	○		
○			脱臼・軟損総論	柔道整復学の基礎となる関節および軟部組織に関する基礎項目を理解し、関節損傷および軟部組織の損傷の発生から治癒に至るまでの総論的な部分を学ぶことを目的とする。	1 ②	30	1	○		
○			基礎柔道整復理論Ⅰ～Ⅳ	上肢の骨折、下肢・体幹の骨折・脱臼・軟部組織損傷について、その発生原因、症状、合併症、治療法の全体像が見えるように系統的に学ぶことを目的とする。	1 ② ③	100	4	○		
○			柔道整復身体構造学	柔道整復理論に関連する骨学・筋学を主とした解剖学の理解を深めることを目的とする。	2 ①	30	1	○		
○			柔道整復生体機能学	柔道整復理論に関連する筋肉の動きなどの生体機能の知識を深めます。	2 ③	20	1	○		
○			柔道整復救急法	トレーナー活動中に起きる様々な傷害に対応できる救急法を学ぶことを目的とする。	2 ②	30	1	○		
○			運動器外傷発生学	運動傷害学概論を基に、発生メカニズムと想定される損傷の関係について学習します。	2 ③	20	1	○		
○			運動器外傷機能訓練法	リハビリテーション概論の知識を基に、アスレティックリハビリテーションについて学ぶことを目的とする。	3 ②	30	1	○		
合計				12 科目	320 単位時間（	12 単位）				

授業科目等の概要

(医療専門課程第1 柔整学科) 平成28年度1年生・2年生										
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法		
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技
○			臨床柔道整復学Ⅰ～Ⅶ	整復法、固定法、後療法は共通点と相違点に留意し、鑑別診断を意識しながら、上肢、下肢、体幹の骨折・脱臼・軟部組織損傷を部位別に分けて学ぶことを目的とする。	2通	190	7	○		
○			柔整医学演習Ⅰ～Ⅸ	国家試験に対応した問題演習を中心として、対象科目(11科目)を総合的に学ぶことを目的とする。	3通	270	9		○	
○			柔道整復実技入門	基礎的な包帯法、テーピング、マッサージ、ストレッチの方法などを学ぶことを目的とする。	1①	30	1			○
○			基礎包帯実技	包帯の巻き方を中心に、基礎となる包帯法を学ぶことを目的とする。	1①	30	1			○
○			基礎固定実技	骨折や脱臼等の固定法についての基礎を学びます。種々の固定材料を用いて、主に巻軸帯(包帯)による固定法およびテーピングの基礎を学ぶことを目的とする。	1②	30	1			○
○			基礎柔道整復実技Ⅰ～Ⅳ	上肢の骨折、下肢・体幹の骨折に分けて、系統的に整復法・固定法を学ぶことを目的とする。	1③ 2① ①②	120	4			○
○			臨床柔道整復実技Ⅰ～Ⅸ	上肢・下肢・体幹の骨折・脱臼・軟部組織損傷について、診断の仕方・整復法・固定法について学ぶことを目的とする。	2② ②③ ①②	285	9			○
○			臨床実習	臨床の現場において医療面接、診察法、柔整治療の技術の習得を目的とする。	3① ①②	45	1			○
○			柔整専門演習Ⅰ	本校独自の必修科目として、整形外科見学実習、スキー場救護見学実習を行い、臨床現場で役立つ知識を習得することを目的とする。	2③ ③③ 通	30	1			○
合計				34科目	1030単位時間(34単位)					

授業科目等の概要

(医療専門課程第1 柔整学科) 平成28年度1年生・2年生										
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業 時数	単 位数	授業方法		
必修	選択必修	自由選択						講 義	演 習	実験・実習・実技
○			柔整専門演習Ⅱ	興味のあるテーマを選択し、研究、臨床あるいは国家試験対策を行い柔道整復学を専門的に理解することを目的とする。	3 通	30	1		○	
○			臨床セミナーⅠ・Ⅱ	実際に臨床現場に立たれている講師の方々による実践的な知識・技術を学ぶことを目的とする。	2 ③ 3 ① ②	50	2		○	
	○		選択科目	解剖学や生理学をベースとした基礎セミナー、開業につながる実践的な画像診断や手技療法等の臨床セミナーの科目を5科目選択し、それぞれの知識・技術を習得することを目的とする。	1 ③ 2 ③	100	5	○	○	
合計				8 科目	180 単位時間 (8 単位)					